

ツール特集

上司配布用

職場を活性化する「褒め方」

部下をやる気にさせるポジティブコミュニケーションの手引き

ビィハイブ 代表 谷口 祥子

●承認という報酬を与えよう

職場のコミュニケーションを深め、社員のモチベーションをどう高めるか——これは多くの企業が抱える人事課題だが、たった一つの「褒める」行為が劇的な効果を上げることがある。この効用に気づいている企業は「褒める文化」を培って職場活性化につなげているが、「褒める」行為は簡単なようで難しい。部下を褒めたい気持ちはあっても口に出せない上司が大半ではないだろうか。

そこで、「褒め方」について多くの著書がある谷口祥子氏に、職場の上司・管理職の皆様に向けて、そのポジティブコミュニケーションのノウハウをツールとしてまとめていただいた。氏によれば「褒めることは相手を承認することと同じ」「褒められることは報酬を与えられることと同じ効果がある」という。読者の人事担当様には、ぜひ本ツールを各部署の上司に配布され、組織活性化の効用を実感していただきたい。

(編集部)

構成

- No.1 褒め方一つで現場は変わる
- No.2 「褒め」の効用3本柱とは
- No.3 まずは自分を褒めてみよう
- No.4 褒める風土づくりの事前準備とは
- No.5 褒め方5つのアプローチとは
- No.6 褒めの進め方4ステップとは
- No.7 主体性を引き出す褒め方
- No.8 褒めても喜ばない相手への対処法
- No.9 いい人間関係をつくる褒め方
- No.10 照れずに自然に褒める方法
- No.11 相手の心を開かせる褒め方
- No.12 叱る代わりに使える褒め方
- No.13 大きな自信を引き出す意外な褒め方
- No.14 褒め上手なリーダーになろう

~~本ツールのPDFファイルをご用意しました。本誌年間購読者様に限りご提供します(無料)。ご希望の方は editors@busi-pub.com まで購読者番号(本誌送付の宛名ラベルに記載)を明記の上、E-mailでお申し込みください。(TEL・FAXは不可)。2013年2月28日まで。~~

■谷口祥子(たにぐち よしこ)

同志社大学文学部卒業。広告制作会社でコピーライターとして活動後、ITベンチャーにて携帯コンテンツ事業の立ち上げに参画。学生の頃から人間関係づくりが不得意で、一時は対人恐怖症にまで陥っていたが、コーチングに出会ったことで人生観が大きく変わり、36歳のときにプロコーチ・セミナー講師として起業。コミュニケーションスキル研究所「ビィハイブ」を設立し代表に。2009年、『あたりまえだけどなかなかできないほめ方のルール』(明日香出版社)の出版をきっかけに、「ほめ方の極意セミナー」を主催。その活動は新聞、TVなど各メディアで話題を集めている。また、内省的で自分を抑え責めてしまいがちな日本人のために『自分ホメ〜毎日が100%輝く魔法の言葉〜』(集英社)を出版。現在、セルフイメージUPやほめ方を中心とした自己啓発・コミュニケーションスキルの講師、ビジネス作家として活動中。



●URL <http://bee-hive.biz/>